

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホームつつじ 第二ユニット	評価実施年月日	平成21年1月10日～平成21年2月10日
評価実施構成員氏名	山田 美紗 永野 祥子 峯 かおり 小林 弥生		
記録者氏名	山田 美紗	記録年月日	平成21年 2月 15日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>独自の理念とポリシーに添ってサービスを提供しています</p>	○	<p>今後も理念を念頭においてサービスを提供していきたいと思います。又、地域に根ざした文言を加えた方針を検討中です</p>
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>社内研修で確認をしています。又、職員がすぐ見れるように休憩室や階段に運営理念を貼っています</p>		<p>今後も理念の実践に向けて取り組んでいきたいと思います</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>入所の際に説明しており、エレベーターや階段など目の届きやすい所に提示しています。また、運営推進委員会ではプリントを配り、分かりやすく説明しました</p>		<p>運営推進委員会では、暮らしや取り組みについて写真を見ながら報告をさせて頂き、その際に民生委員の方や家族の方と意見交換をしています</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>中庭やホーム周辺を散歩する際に、近所の方々に挨拶したり、ホームで作っているお花を見て頂いたりしています。近くの施設の方も気軽に来られ、休まれています。また、近くの小学校での運動会や学芸会にも招待していただいたり、運営推進委員会などを通じていつでも遊びに来て欲しいと、呼びかけています</p>		<p>これからもお互いの行事に参加できるように努めます</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>近くの小学校の学習発表会や、雪明りの路に参加し、皆さんと交流する機会を作っています</p>		<p>運営推進委員会では、写真を見てもらいながら交流や取り組みについて意見交換をしています</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>運営推進委員会においてノロウイルスやインフルエンザはどのようなものか、と云うのを話させて頂いたり、認知症についての勉強会を行ないました</p>		<p>運営推進委員会で、家族の方からのお話も聞かせていただいています。今後も研修会などへ参加した時には運営推進委員会の中でも伝達講習を行ってきたいと思っています</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>改善計画シートを作ったり、自己評価や外部報告書に基づいて、職員で話し合いを行ってます</p>		不足部分を補い、より良いホームにしていきたいと思います
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に一度開催し、どんな事しているのかを伝え、地域の方と家族と話し合い、そこで出た意見をサービス向上に活かしています</p>		運営推進委員会では外部評価や自己評価について確認してもらい、意見交換をしてサービス向上に努めています
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>書類を提出する際に窓口にて相談しました</p>		サービスの質が上がるよう、市町村と取り組めるような機会を作って行きたいと思います
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>管理者研修において学びました</p>		機会があれば活かし、今後も権利擁護や成年後見制度の理解を深めて行きたいと思います
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>社内研修や社外研修で学んで、その後、他のスタッフにも伝えていきます。スタッフ全員が虐待を見逃さないよう努めています</p>		今後も社内研修で定期的に学び、虐待防止できるよう努めます
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約書や重要事項説明書などをサービスを提供する前に説明して同意を頂いています。解約時には不安を少なく出来るよう十分に話し合いをして、退去しても納得できるような施設などに移れるよう支援をしています</p>		これからも書類を見て十分に説明し、理解し、納得できるよう努めたいと思います

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	いつもと違う表情(陰しかったり、悲しんでいた)をされていたり、職員が空いている時間がある時は、苦情や不安に思っていることなどを伺うようにしています。家族にも相談し、良いアドバイスを受け、解決できるように努めています		一人ひとりにゆっくり時間をかけて納得できるまで話しをしています
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	面会の際に近況の様子をお話しています。近くに住んでいない家族や、あまり面会に来られない方には定期的に電話でどんな様子か伝えていきます。ご本人ともお話されています。又、2ヶ月に一度お便りを出し、その際にお小遣いの残高を記入し、確認していただいています		面会時には、行事の時に撮った写真や、作品などを見ていただきながら、暮らしぶりを分かりやすく伝えていきたいです。ホーム便りを作成し、年2回発行しました
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を玄関に設置し、気軽に書いて頂けるようお願いしています		面会簿にも意見を書けるよう記入欄を作り、書きやすくなるよう配慮しています。運営推進委員会でも色々意見を頂き、運営に活かしています
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に会議を開き意見交換できる機会があります		月に一度フロア会議を開き、その際にスタッフからの意見を聞いています
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	職員の人数を一人多くするようにしています。業務に支障が出ないよう勤務の調整をしました		ホームヘルパーを取得している事務職員が手伝ってくれることもありました
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動については代わる職員と時間を重ねるようにして、利用者へのダメージを防ぐよう努力をしています		レク活動を通じて、会う機会を作ったり、何人も一気に移動することはないようにしています。移動してきた職員は利用者さんとコミュニケーションを多く取り入れてもらい、早く慣れるよう努めています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	社内研修を毎月実施し、社内研修を終えるごとに職員よりレポートを提出してもらうようにしています。勤務を調整して、資格を取れるようにしています。また、段階に応じて外部研修の機会を確保して、参加できるようにしています	資格を持っている職員から勉強を教えてもらったり、テキストを借りたりして、資格取得を目指すよう勤めました。今後も職員の育成に努めます
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	グループホーム協議会へ参加したり、市外のほかのグループホームの見学をし、サービスの質を向上できるよう努めています	今後も同業者との交流を深められるよう色々なグループホームを見学し、良いところを学びたいです
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	皆仲が良いので、仕事上の話はいつでも話し合えています	各フロアのチーフ、管理者で会う機会を作り、食事会などを開き、相談しやすい環境を作りました
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	それぞれの職員が力を発揮できるよう心掛けています。ヘルパー2級や介護福祉士の資格取得も努めています。段階に応じて外部の研修にも参加してもらい学ぶ機会を作っています	勤務の年数や実績に応じて、実践者研修や管理者研修に参加しました。研修後の伝達講習は社内研修の中で行ないました
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	本人と家族の思いを良く聞かせていただき、受け止められるよう努めています。本人が納得してから入所できるよう、見学を勧めています	今までどのような生活を送ってきたのか、ここでの生活に対して不安に思っていることなどを聞き、生活援助が具体的に出来るよう努めています。又、見学を勧めこれからの生活の場を見ていただいています
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ご家族に不安な事や困っている事などを聞ける時間を作ってもらい、受け止められるよう努めています	見学や体験を行なってもらい、本人が納得できた上で無理の無い入所を勧めています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人や家族の気持ちを見極め、出来るだけ添えるように対応し、他のサービス利用が良いと思うときにはそのように伝え、相手方のサービス担当者にも連絡するなどしています		どうして欲しいかどんな事が不安なのかを受け止められるよう、ホームの見学を本人と家族にして頂き、その際にお話を良く聴かせて頂くようにしています
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	事前に家族や入所希望者に見学してもらえよう勧め、少しでも馴染めるようにお茶を飲みながらお話したり、行事の参加を勧めています		本人や家族の気持ちを考えながら安心してサービスを受けれるようにしていきたいと思います
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	ご本人が出来る事を一緒に行ったり、教えていただいたりしながら接しています		調理に関わる事や昔していた趣味や遊びなどを通して、笑い合える時間を多くしていきたい。関わりの中から自信の回復につながるよう、今後も共に学び、その人らしい生活が送れ得るよう支援していきたいです。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会時や電話等を通じて関係を深めています。利用者さんが不安になったり家族に会いたいなどと訴えがあれば、家族に連絡し来ていただいたり、電話でお話してもらったりしました		ホームでの催しに招いたり、外での食事や散歩などして、ご家族と一緒に楽しい時間を過ごして頂き、良い関係を築いています
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族や周りの友人関係は入所の際に教えてもらい、続けられる様支援しています		ご本人が無理の無いように、ご家族と話し合いの上、これからも継続できるよう支援しています。手紙のやり取りや電話でお話したりしています
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	昔から通っている美容室や、病院受診などは本人が行きたいときは、ご家族の協力を得て継続して利用しています。また、ご家族の希望で携帯電話をお持ちになり、いつでも連絡が取れるようにしている方もいます		ご家族に協力してもらい、出来る限り、本人の希望に添って支援を行なっていきたいです

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	一人ひとりが孤立しないよう、個々の性格や生活に配慮しながら職員が仲介になって仲間作りの援助をしています		レクリエーションや日常の家事などしてもらっている時に、利用者さん同士がスムーズに会話できるよう職員がきっかけを作ったり、会話の橋渡しをしています。利用者さん同士で相談や悩みを打ち明けている様子も見られており、お互いに支えあう関係が出来ていると思います
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービスが終了しても相談などを受けて、関わりを持ち続けていきたいです		退所が決定するまで、本人の様子や状態を病院や家族と連絡を取り合っています
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向はその都度聞いています。また、入所する際に本人と家族より今までの生活を聞いて、今までしてきた事を続けられる様に努めています		今までしてきた趣味(編み物や歌、読書など)を進んで出来るようにしたり、個別のケアが行える様職員で話し合いをしています
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	その人らしい生活が送れるよう、本人と家族に今までの暮らし方や、今までのサービス利用の経過を伺い、フェースシートを作成しています。その情報を元に支援しています		本人の趣味や今までしてきた事などを続けられるよう、職員が聞き取りした内容を皆で共有し把握している
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	声掛けや見守りをしながらその日その日の状態を確認し、出来る事は無理の無いように続けてもらい、残存能力の活用に努めています		毎日ほぼ同じ時間にバイタル測定を行ない、変化は無いか確認し、現状の把握するように職員できちんと伝え合うようにしています
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	状態の変化を見ながら、ご本人やご家族の意見を聞いて、利用者さんに合う介護計画を作成しています		担当者会議で担当職員と話し合い、本人や家族からの意見を聞いて介護記録を作成しています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の見直し時には本人、家族、職員と話し合い、介護支援専門員の管理のもと、現状に合う計画作成をしています		これからも現状に適したプランに沿って生活支援をしていきます
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	一日の様子を一人ひとり個別に記録し、変化があれば、その記録と介護計画に基づき介護計画の見直しをしています		職員間で情報をお互い交換しやすくように申し送りノートを使っています
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	書類の説明や、家族が職員とゆっくり話したい時は多目的室を使っています。その他にも、面会時などでは、居室やリビング、中庭を自由に利用して頂いています。季節の行事の参加や書類の手続き等、協力を得ています		今後も、本人や家族の状況に応じて、要望に応じられるよう支援を行っていきます
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員の方は運営推進委員会へ参加をしています。指圧、茶道、歌などのボランティアさんは定期的に来て下さっています。救急救命講習は消防士さんが来てくださり、年2回行ないました。近くの幼稚園の生徒が中庭で歌を披露してくれたり、小学校では学習発表会や、運動会などへ招待してくれました。琴の演奏会も中庭で行って頂き、みなさんと協力しながら支援を行なっています	○	これからも地域の方に協力してもらいながら支援していきたいと思います
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のケアマネジャーや事業者と連絡をとっています		入居の際の相談や転居などで協力を得ています
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターに相談し、協力を得ています		新規の利用者さんがグループホームが適切かどうかの相談したり、入居相談も続けていきたいと思っています



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	以前から通っていた病院に通うか、ホームの協力病院にするかは、本人と家族に確認し、適切な医療を受けられるよう支援しています		本人が通いたい病院に受診できるよう今後も支援していきます
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院の医師に相談しています(内科・整形外科・歯科)		病院受診の際は職員が相談したり、家族が同行して、先生のお話を聞く事がありました
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	何かあったら協力病院の看護師さんに相談し、受診の有無も判断してくれました		健康状態を伝え先生の橋渡しになってくれています
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	病院関係者とは、電話や実際に病院に行き情報交換に努めています		早く退院できるように、家族や病院と連絡を取り合い、情報交換をしています
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	主治医や家族と話し合いをしたうえで、方針を共有しています		必要に応じその方にあった機関の利用を支援しています
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	本人、家族の意向を尊重して、主治医とも相談しながら一番適した環境で安心して過ごせるように支援しています		より良く生活できるよう支援しています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>本人や家族の意向を充分にお聞きし、情報の交換を行っています。納得のいくまで見学や催しにも来てもらい、徐々に馴れていけるよう努めています</p>		<p>なるべく本人と家族の希望を聞きそれに添うように対応しています</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>言葉かけや対応などをきちんと行い、プライバシーを損ねるようなことはしないよう努めています</p>		<p>一日の記録は本人が言葉にしたのをそのまま書くようにして、どのような一日を送っているのか、記録を見て把握できるよう努めています</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>自分で決定できるように分かりやすくお話ししたり、問いかけたりしています。色々ある中から選んでもらったり、二種類から選んでもらうなどをして、その利用者さんに自分で決められるよう支援しています</p>		<p>場所や人を変えたりして本人の思いが伝えやすくなるように支援しています。趣味なども希望にそって行っています</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>個人個人のペースで、どうしたいか、何をしたいかを伺ったり、希望に添いながら過ごせるよう支援しています</p>		<p>食事は本人のペースに合わせて、遅い時間に召し上がったり、量を調整したり、無理の無いように美味しく召し上がれるようにしています。入浴や家事についても無理の無いように一緒に行なっています</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>洋服は自分で選んでもらったり、職員と一緒に選びおしゃれを楽しめるように努めています。町の美容室に行く機会も設けています。家族の協力で、昔から通っている美容室に行く方もいます</p>		<p>外出する際には、みんなで化粧をしてお出かけしたり、季節や気温に合った洋服を着ているか見守りしています</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>一人ひとりの好みを聞き、美味しく食べれるように努めています。又、お話しも楽しめるように、利用者と職員が同じ食卓に座り、みんなで話しやすい環境作りをしています。季節の行事に合ったメニューも提供し、ランチオンマットなどもその日の気分で利用者さんが変えられるように4種類ほど用意しています。出来る範囲の事は進んで行なって頂けるよう支援しています</p>		<p>食事の準備や後片付けなどは、ご自分からキッチンに来られ、進んで行なってくれる方もいます。行事食は利用者さんからこれが良いんじゃないかい？とアドバイスをくれる事もありました</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	本人の希望に添いながら楽しめるようにしています。現在はお菓子やコーヒーを好きな時間に飲まれ楽しんでいる方がいます		タバコやお酒を希望される方が出たら、本人の体調を把握しながら、楽しめるよう支援したいと思います
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人一人の利用者さんに合わせて、定期的にトイレ誘導をしたり、声掛けが必要な方にはさりげなくサポートしている。失禁で嫌な気持ちにならないように、出来る限り、トイレで排泄出来るように支援しています		落ち着かない様子が見られたり時や、排泄のリズムを把握して定期的にトイレ誘導をしています
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	のんびり入浴を楽しんでもらえる様、一人で入られたり、職員介助で入られたりと、本人のペースに合わせています		シャワーや掛け湯をして、負担が少ないようにしています。浴槽に入る際は、本人のペースで入られ、体調によっては声を掛けさせていただいています
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	夜間の巡視で安全確認を行い、安心して休めるように努めています。一人ひとりの生活習慣や体調を把握し、気持ち良く休めるようい支援しています		編み物をしたり、居室やリビングでテレビをみている方もいれば、居室で部屋の片付けや読書をしている方や、仏壇にお参りしている方など一人ひとりのしたいことを無理の無いように行っています
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	オルガンが得意な方には皆さんの前で弾いてもらったり、歌が好きな方や計算や漢字が得意な方は行なえるように支援しています。生活歴を把握し、昔食堂で働いていた方等には、進んでキッチンで出来る事をして頂き、今では自分から進んで家事をしてくれています。雑巾縫いやマット作りなど、好きな方には無理の無いようお願いし、お話も進むように支援しています		ホームでの生活を楽しめるように過去の生活も重視しながら支援していきます
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人の希望により、大きい額ではないが、持っている方もいます		どこにしまったか忘れてしまう恐れがあるので、ご家族と相談しながら対応しています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	一人ひとりの希望に添って、散歩したり、ご家族の協力のもと外食したり自宅に戻られる機会がありますが、全ての方までとは至っていません		ホーム周辺や中庭へお誘いし、外出の機会を図っています。本人の状態に合わせて車椅子を使ったり、帰りは車を用意するなど、負担をなるべく減らすようにしています
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	季節を楽しめるように、お花見や運動会、秋の野菜の収穫祭などに行き、交流を図りながら楽しんでいます		家族と協力しながら個別で外出したり、みんなで外へ出る機会を作れるように努めていきたいと思ひます
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話はいつでも掛けれるようにしています。携帯電話をお持ちの方もいて、家族や友人宅へ電話を自由に掛け楽まれています。年賀状や手紙のやり取りも家族の協力のもと行なっています		これからも本人の希望に合わせて交流のある方との連絡のやり取りを続けていきたいです
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	職員の挨拶を徹底し、温かい雰囲気を作っています。ホームでの催しに招待して、一緒に楽しんでいただいたり、居室でお茶菓子を飲みながらゆっくりお話しされています		居心地良く過ごせるよう、明るい雰囲気を作り、いつでもご面会に来て頂けるようにお伝えしています
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に委員会を開催しており、人として正しく理解するよう取り組んでいます	○	社内研修においても身体拘束についての知識を再度学び確認してもらっています。実践者研修の参加も再度申し込みを行なって行きたいと思ひています
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中、鍵は掛けておらず、利用者さんは職員見りの下、階段を上り下りしています。夜間は防犯上、施錠しています		夜、遅番が退社後に掛けています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	利用者さんの安全が第一なので所在や様子は把握し、失礼のないように配慮しています。		居室で過ごす事が多い方は、訪問し、世間話をしつつ様子の確認をします。本人が嫌な思いをしないよう配慮しています
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	本人の希望で持っている方もいますが、危険だと思われるものは管理しています(刃物・薬・洗剤など)		入所時に本人とご家族と話し合い了解を得ています。爪切りや服薬など見守って、出来る限り行なって頂けるようにしています。包丁も使い一緒に調理に参加することもあります
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	マニュアルをもとに転倒や誤薬など全体的に学び、事故防止に取り組んでいます		今後も社内研修で学び、すぐ対応できるようにしていきたいと思います
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的に研修を行なっています		救急救命の講習、研修などを消防士の協力のもと行なっています
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	定期的に避難訓練は行なっています。住宅街から離れているが、隣接しているグループホームと協力し、安全に避難できる体制を整えています		民生委員や家族が集まる運営推進委員会にて協力を得られるようにしています。今後も定期的に避難訓練や救急救命を行ない、利用者さんが速く避難できるような方法を身につけたいと思います
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	主治医の指示や家族から情報をもらいながら対応策を考え、ゆったりとした環境で暮らせるように支援しています		高齢の為、転倒や誤嚥する危険性などを家族に説明し、またそれらを防ぐ対応もお伝えしています
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日ほぼ同じ時間帯にバイタル測定を行ない、変化があれば主治医に相談し、対応しています。いつもと違う様子を見逃さないよう、努めています		いつもと違う様子が見られたら、口頭やノートで伝え情報を共有しています
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書をすぐ見れるように記録簿の中に綴り、確認し、用量の調整も主治医の指示に従って調整しています(下剤など)。一人ひとりの薬箱があり、服薬後の様子を観察しています		内部研修において服薬やについて勉強をしました。服薬時には、名前を声に出して職員も本人も確かめてから手渡しし、服薬するようにしています
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	体操したり、水分が摂りやすいように、食物の工夫したり、医師への相談などを行っています。また、水分量、排便状況の把握に努めています		食事のバランスや水分量の確認、家事などをしながら体を動かすなどしています。主治医からの指示で下剤を使用している方もいます
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後に歯磨きを促し、不十分な方には声掛けや一部介助を行い、清潔を保てるようにしています。緑茶でうがいをし、殺菌もしています		食後、声掛けにて歯磨き、うがいをお願いしています
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	1日どの位召し上がっているか毎日介護記録に記入し、把握してます。食欲の無い方は、時間をずらしたり、好みの物を出したりして、無理なく召し上がっていただけるようにしています		嚥下体操や口腔体操をほぼ毎日行い、美味しく食事ができるように支援しています
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する予防や対応の取り決めた感染症マニュアルの作成を行ないました。毎日のお掃除に次亜塩素酸ナトリウムを使用し予防に努めています		玄関には消毒薬を置き、職員、利用者共に手洗いを励行しています。調理の際は過熱を徹底し、使った包丁やまな板はその都度消毒しています。利用者、職員共にインフルエンザ予防接種を全員受け予防に努めています。流行時には、家族の方にも協力してもらい、面会の際には手洗いとマスクを使用してもらっています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	キッチン内の物は消毒し、清潔を保っています。食材は鮮度の良い物を使用し、賞味期限などを確認しています。調理する際も過熱するよう徹底しています。		キッチンチェック表を作成し、遅番が消毒を終えたら記入し、消毒するのを忘れないように徹底しています。冷蔵庫の中も週に1度中を消毒しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関には草花を飾り、温かい雰囲気を出せるよう努めています。中庭には畑やお花を植えてあり、緑あふれる自然の中での心地良い空間になっています		近くに住んでいる方も自由に来てくださり、中庭にあるテーブルでゆっくりされていることがあります。ホームの方も中庭に居ると、一緒にお話されて楽しんでいます
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	快適に過ごせるようにテレビの音や、カーテンで光の調整を行い、不快の内容に努めています。また、季節感を出せるように飾りつけをして、雰囲気を出しています(ひな祭り、五月人形、クリスマス、お正月等)		今後も快適に過ごせるよう工夫していきます
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアには食卓テーブルとソファがあり、どこでも自由に使用していただき、個々の思い思いの過ごし方をしています。玄関にあるベンチで外を眺めている方もいます		1・2Fは自由に行き来されており、他のフロアで過ごされている方もいます
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人と家族に相談し、今まで使用していた使い慣れた家具をなるべく持ってきていただき、居心地良く過ごせるよう支援しています		以前から使っていた家具を皆さん持ってきてきています
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	掃除の時には窓を開けて、空気の入換えを行なっています。温度・湿度計を設置し、適度になるよう暖房を上げたり、濡れタオルをフロアに掛けたりして湿度の減少を防ぎ、心地良く過ごせるように努めています。臭いが気になるようであれば換気扇をまわしています		居室の臭いが気になる時は、利用者さんが居室に居ない時に窓を開けたり(風邪をひいてしまうので)、臭い対策としては換気の外に木炭を置いています
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりは多く設置しており、浴槽や浴室には滑り止めマットを使用し無理なく移動乗乗できています。ホーム内の床は前面バリアフリーで安全に配慮しています		一人ひとりが安全に自立した生活が送れるようこれからも工夫していきたいと思います
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	食卓テーブルや居室に名前を貼り、確認できるようにして混乱しないようにしています。本人が出来る事と出来ない事を把握し、自信の回復に努めています		安心して自信を持った生活が出来るよう職員と一緒に炊事やお掃除、洗濯、縫い物などの活動を無理の無い範囲で楽しく行なわれるように配慮しています。これからも自立に向けた支援を今後も行なっていきたいと思っています
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭ではゆっくりと景色やお花を眺めたり、お話をして過ごされたり、野菜を収穫しています。又、天気の良い日は中庭でホーム喫茶を開催したり、外でランチをしたり、お茶を飲んだりしています。同じ敷地内のグループホームに入所されている皆さんと楽しく交流できる場として活用しています。ホーム周辺にウサギ小屋があり、散歩がてら見に行ったりして楽しまれています		中庭では地域の方が来てくださり色々な催し物をしてきて、楽しい生活の場となっています



V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない	②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	②
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	②
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	②
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない	②
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない	③
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	③

V. サービスの成果に関する項目			
	項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	②

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)自然がいっぱいの中に建っており、家庭的な雰囲気の中で、利用者さんが安心して笑顔で過ごせるようお手伝いさせて頂いています。個人個人のペースに合わせて生活して頂き、出来る事はそれを継続できるよう努め、難しいことは嫌な思いをしないよう一緒に行なわせていただいています。又、地域の方に協力してもらいながら、交流を深めて、地域に密着したグループホームを目指しています。